

## 会 議 録

会議の名称	令和3年度 第3回文化財審議会
開催日時	令和4年3月2日(水) 15時00分～17時00分
開催場所	中央図書館2階 視聴覚ホール
出席者	吉川節男委員、佐々木真理子委員、大久保善郎委員、塩入たま江委員、松本伸行委員、小林浩委員 事務局（深迫課長、堀副課長、佐藤主任、大野主事）
欠席者	杜多堯慶委員
会議次第	1. 議案事項 市指定文化財候補への登録について (1) 本目遺跡出土注口土器について (2) 谷津遺跡出土旧石器時代石器群について 2. その他
会議資料	・文化財保護事業に関する資料
公開・非公開	公開（傍聴人 0人）
会議録確認	吉川委員
<p>会議内容</p> <p>あいさつ（議長・課長）</p> <p>1. 議案事項</p> <p style="padding-left: 2em;">市指定文化財候補への登録について</p> <p>事務局：前回の審議会で提案させていただいた本目遺跡出土注口土器と谷津遺跡出土旧石器時代石器群の2点について、指定文化財候補への登録の可否について審議・決議していただきたい。</p> <p>→ 事務局側からの資料説明</p> <p>議長：貴重な文化財と思われるので、登録するべきかと思うが、よろしいか。</p> <p>→ 委員全員賛成</p> <p>議長：それでは議決ということで、審議を終了とします。</p>	

## 2. その他

事務局：前回口頭で少しお話させていただいた難波田氏館跡の土塁について、その後発掘調査を一部実施したので、簡単ではあるがその成果を説明させていただきたい。

→ 事務局側の説明

事務局：調査結果から難波田氏館跡（難波田城）の土塁としてほぼ間違いなく、新たな知見が確認されたことから、今後は土地所有者と綿密な連絡を取りながら後世に残していけるよう協議を進めていく予定である。

委員：現状として難波田氏館跡で唯一現存している土塁ということだが、周辺に他にも土塁は存在していたのか。

事務局：現存している土塁は本丸を守るために設けられた土塁であるため、本来は本丸を囲むようにして周辺に土塁は存在し、その後の長い年月のうちに削平されてしまったものと想定される。